

2020年10月31日

学校法人平和学園
平和学園小学校
2020年度 学校だより 第8号
〒253-0031
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
TEL 0467-87-1662/0131
FAX 0467-87-0411
URL <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

平和の花

実を結ぶ

年間聖句

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。

ヨハネによる福音書 15章5節

いつも平和学園をお支えくださり、感謝申し上げます。

学芸会が10月24日(土)に久しぶりにグレーニアホールで行われました。今年はコロナ禍の開催となり、保護者の皆様はもとより、来賓や出身園の先生方もお招きすることができず、お見せできなかったのが残念です。新型コロナウイルス感染防止を第一に考え実施した学芸会でした。ご了承ください。

1年生から6年生まで、それぞれの学年が持っているすべての力を発揮した、見事に平和学園小学校らしい学芸会でした。児童を主人公として教師も加わる共同制作で、どの学年も表現豊かな発表となりました。最後は全員の拍手でホールが包まれた学芸会でした。後日ご家庭でも観られるように準備中です。もう少しの間楽しみにお待ちください。この場では少しだけご紹介します。

1年生は『フランシスコとおおかみ』で、許し合う心と平和の大切さを観衆に伝えました。さらに手話を交えた讚美歌『キリストの平和』の発表で、かわいい声が会場全体に響き渡り感動を与えました。

2年生はプレゼントをすることで喜んでもらうこと、そこに自ら与える喜びも豊かにあることを表現し演じた『ミシュカ』でした。

3年生は、『3本の木』がそれぞれの役割を果たすことでイエスの生き方に関わることができ、自分の望んでいた希望より多くの恵みがイエスから与えられたという感動物語でした。

4年生は『葉っぱのフレディ』。1枚の葉を通して人に豊かな心と感動を与え、命の意味、生きる意味を考えさせる演技でした。葉の命がなくなることで、葉は生命の養分となり、他の命を育てる役割を果たす。人間との関係をも含めた命の大切さと役割を果たす喜びを観衆に届けました。

5年生は映画製作に取り組み、上映。制作過程で歴史から学び、平和をつくり出す人として、アンネ・フランク、マーティン・ルーサー・キング Jr. 牧師、平和学園の創立者賀川豊彦が登場しました。そして今、平和学園の一人ひとりに永久平和(平和をつくり出す人)の使命がもたらされ、5年生全員で平和をつくり出す人としての使命を観衆に示しました。

6年生は時代と共に、立場や価値観で物語の受け止め方や、裁判の結論も変わることを示す『昔話法廷 三匹のコブタ』でした。物語の受け止め方は自由。答えは時代で評価は変わり、それぞれの立場で有罪か無罪かが分かれることを伝えると同時に、人を人が裁くこと、命をどのようにとらえるかを最高学年として観衆に問いかけました。判決は出さず、観ている人に考えてもらうこととし、個人の考えを尊重する発表でした。

すべての学年の発表には意味があり、教職員も考えさせられる発表でした。学芸会を振り返り、今の学校生活の日常に活かすことの重要性を感じています。

